鹿児島大学構内遺跡　郡元団地

遺跡名	鹿児島大学構内遺跡郡元団地 （かごしまだいがく　こうないいせき　こおりもとだんち）	
所在地	鹿児島市郡元一丁目	
位置	北緯 30°　34′　11″　　東経 130°　32′　48″	
遺跡の概要	縄文	前期（曽畑式）～晩期の土器、けつ状耳飾転用のペンダント、泥炭層中の足跡など
	弥生	中期の大溝、水田面、河川跡、堰跡（木杭列）、前期～後期の土器、瀬戸内系土器（搬入品）、甕棺片、石包丁、木製品（農具、容器、杭）、石戈（？）、鉄製品（釣り針か？）
	古墳	住居跡群、焼失住居、河川跡、溝、水田跡、ピット群、土器、須恵器、台石、砥石、軽石製品、鉄斧、鉄製鋤先、青銅製鈴、金銅製品、勾玉、臼玉、ガラス小玉、土製玉、紡錘車など
	古代	道路状遺構、須恵器、土師器
	中世	畑跡、土師器、青磁、白磁、瓦器、滑石製石鍋など
	近世	水田跡、河川跡、陶磁器（薩摩焼、琉球焼、唐津焼など）、中国製磁器、煙管、泥メンコ、土製品（鳩、兜など）、寛永通宝
	近代	砲弾・銃弾（西南戦争時、第 2 次世界大戦時）、陶管、陶磁器、高等農林学校跡
	現代	旧校舎跡、配管など